

健康福祉部の目標（高齢支援課 介護保険課 抜粋）

令和7年度

部の目標

すべての市民の健康と命を守り、その暮らしを支え、市民一人ひとりが生きがいのある生活を送れるよう保健・医療・介護・福祉に関する施策の充実を図るとともにデジタル技術等の活用を含め各種サービスの迅速かつ適切な提供、利用者主体の支援に努める。また、高齢者、障がい者、生活困窮者等の支援施策の連携により多摩市版地域包括ケアシステムの取組をさらに進め相談から自立までの横断的・継続的な支援の実施を部の目標とする。

具体的な取組

高齢支援課 地域において介護予防活動が継続していけるよう、関係機関と連携しフレイル予防事業を推進する。認知症の人が生きがいを持って生活できるよう社会参加支援の取組を行う。第10期高齢者保健福祉計画の基礎となる高齢者実態調査を実施する。

介護保険課 稼働を開始する認定調査及び審査会システムを活用して認定業務の効率化を図り全合議体でオンライン審査会を開催するとともに、令和8年度の電子申請導入に向けて調査検討を進める。また、令和8年度に導入の義務化が決定している事業者の電子申請準備を支援する。

成果

フレイル予防の一環として社会参加促進のため高齢者スマートフォン購入費助成事業を実施した。認知症の人の社会参加を推進するため地域へ働きかけ普及啓発を行った。関係者からも意見聴取し高齢者実態調査を実施した。

稼働を開始した認定調査システムを活用して認定調査と審査会の効率化と経費の削減を図り、オンライン審査会を試験的に実施した。電子申請の導入に向けて調査検討を進め、被保険者証の再交付、過誤申立て、住宅改修の助成利用の各申請についてオンライン化を図るとともに、事業者の電子申請準備を支援した。

令和8年度

部の目標

市民の困難に寄り添い、ライフステージに応じた保健・医療・介護・福祉サービスを提供できるよう、関係機関との連携強化を進める。また、永く健康で居続けられるよう、市民の健康意識を高め、一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組める環境づくりを進めることを部の目標とする。

具体的な取組

高齢支援課 高齢者実態調査や市民・関係者の意見を参考に第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定する。なお認知症施策についてはその方向性を定め計画に盛り込む。その他、熱中症予防対策として知識の普及啓発と自身が行動変容できるよう効果的な働きかけを行う。

介護保険課 在宅介護・介護保険事業所調査の結果や介護保険運営協議会等からの意見・答申を踏まえ、介護保険料の改定を含む第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定する。また、事業者の電子申請手続きの支援と昨年導入した各種電子申請の周知と利用促進に引き続き取り組む。